

市議会だより



ひのめ市（船川港）

～男鹿から東北に力を！～

◆6月定例会審議日程◆

30日	26日	25日	24日	23日	22日	19日	18日	6月16日
議会運営委員会	予算特別委員会	常任委員会・分科会	常任委員会・分科会	予算特別委員会	予算特別委員会	本会議（議案質疑）	本会議（一般質問）	本会議（議案上程）
本会議（表決）								

記事内容

6月定例会から	P 2～P 3
議会報告会	P 3
一般質問	P 4～P 9
議案質疑	P 9
予算特別委員会	P10～P11
常任委員会	P12
議案質疑・討論・賛否一覧表	P13
編集後記・陳情等	P14

6 月
定例会

事件に対する重い責任

市長の減給案、起立採決で否決
職の給与一部改正

6 月 定 例 会

平成27年6月定例会は、6月16日から30日までの15日間の会期で開かれました。この定例会では、15議案が市長から提案され、審議の結果、14議案が可決及び承認されましたが、男鹿市特別職の職員給与に関する条例の一部改正は否決となりました。また、最終日には、議案4件を可決したほか、男鹿市税務課職員公金着服事件の検査特別委員会が設置されました。

※男鹿市議会会議録は男鹿市ホームページの議会のページでご覧いただけます。

●男鹿市まち・ひと・しごと創世推進本部の設置について

5月19日に「男鹿市まち・ひと・しごと創世本部」を設置し同月28日に第1回推進本部会議を開催いたしました。次期総合計画の策定作業と並行し、10月末までに、2060年までの男鹿市人口ビジョンと2019年度までの男鹿市総合戦略を策定してまいります。

●男鹿市教育大綱の策定について

新教育委員会制度の施行に伴い、4月20日に開催いたしました第1回男鹿市総合教育会議において「教育の振興に関する施策の大綱」を策定いたしました。概要を広報おが6月号でお知らせしたほか、

市ホームページに掲載いたしました。

●小学校の統合について

船川第一小学校と船川南小学校につきましては、7月中に両校の保護者や地域の方々と構成する統合準備委員会を立ち上げ、平成28年4月の統合に向けた準備を進めてまいります。

●男鹿駅周辺整備基本計画について

複合観光施設は男鹿駅周辺整備基本計画の核となる施設であり、秋田県市町村未来づくり協働プログラムを活用することとしております。今後、県や市議会、関係団体、プレイヤー（出店業者）の方々と検討し、ご意見を反映させながら練り上げていくものであります。また、市民の皆様にもご理解を深めていただくた

永年勤続表彰

6月に開催された第91回全国市議会議長会定期総会において、次の2名の議員が永年勤続者として表彰されましたので、6月定例会二日目に表彰状の伝達を行いました。

◎議員在職40年以上



佐藤 巳次郎議員

◎議員在職20年以上



笹川 圭光議員

め、随時、説明してまいります。複合観光施設基本設計業務においては、検討の場におけるご意見を反映した設計を行うこととしております。

●公金の着服事件について

本市税務課長による公金の着服事件が発生いたしました。公金を着服するという、公務員として有るまじき不祥事で

可決した主な議案

〈専決処分〉

●男鹿市市税条例の一部を改正する条例

●男鹿市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

●国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

他1件

〈補正予算〉

●一般会計予算（第1号）

《主な内容》五里合公民館・保育園等移転改修事業費1億7千673万6千円、観光複合施設基本設計業務委託料907万2千円、社会保障・税番号制度対応システム改修業務委託料7千260万7千円などを措置したもので、歳入歳出それぞれ5億2千700万円を増額するものです。

他3件

〈条例〉

●男鹿市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例

●男鹿市若美歴史学習交流館条例を廃止する条例

〈その他〉

●船川第一小学校校舎棟規模改修建築工事請負契約の



船越地区議会報告会

議会報告会 9地区で開催

男鹿市議会では、平成24年に制定した※議会基本条例に基づいて、今年も3班に分かれ、各地区（9地区）で議会報告会を開催いたしました。

今年、177名の市民の方からご参加をいただきました。報告会では、各班とも最初に平成27年度の市の事業内容と予算の概要について、議会側から報告があり、参加者と地域の現状について、活発な意見交換が行われました。その、主な意見、要望内容について、ご報告します。

【議会に対する事項】

- 議会では少子高齢化社会に向けた対応を検討しているか。
- 男鹿市議会会議録について、ホームページにもう少し早めに公開はできないか。

- 財政問題を徹底的に議論・協議し、少しでも市民負担が軽くなるような方策を講じてもらいたい。
- 【市政に対する事項】
 - 漁獲量の減少が進んでおり、豊かな漁場をつくる観点から西海岸一帯の緑の森づくりを推進していくべき。
 - 町内会交付金の支給方法が変更となった。行事の費用捻出が厳しいこともあり、昨年度と同様の支給方法として欲しい。
 - 中山間地域の小規模な農業は、用排水路や暗渠排水などの整備や用水確保にも大変難儀している。何らかの支援をすべきでないか。
 - 出合いサポートセンターは市庁舎3階にあり、市民が足を運びづらい。もっと相談しやすい雰囲気窓口にすべきと思う。
 - 船越海岸線の津波対策について、保安林の活用を考えているようだが、松くい虫被害や落葉により、防災林としての期待はできない。市が先頭に立つて防災対策を進めてほしい。

※議会基本条例
議会の役割を明らかにするとともに、市民の信託に応え、市民福祉の向上及び市勢の発展に寄与することを目的とした条例です。

- 避難場所の多くは高台など集落から少し離れているため暗い。灯りの設置をして欲しい。
- 男鹿駅周辺の活性化について以前にも話があったが、PRが不足していると思う。
- 他市町村で消防団の協力事業所は、事業所の名刺にその旨を明示しているところがある。男鹿市でもやってみてはどうか。
- 今後、高齢化率の上昇とともにさらに介護保険料が上がると思われるが、どこかで歯止めをかけていただきたい。貴重なご意見ありがとうございます。市民の皆様と市議会議員が自由な情報及び意見を交わす場として、また、議会に関心を持っていたくためにも、より多くのご参加をお願いします。

公金着服

市長・副市長 一 特別

あり、市民の皆様への信頼を根幹から揺るがすものであります。このような事件がおきたことは誠に遺憾であり、痛恨の極みであります。市民の皆様にも多大なご迷惑をお掛けいたしましたことに対しまして、深くお詫びを申し上げます。当該職員については、6月22

日付で懲戒免職処分といたしました。事件の全容解明と再発防止に向け、副市長を委員長とする「男鹿市税務課職員公金着服事件調査委員会」を設置いたしました。

当該案は税務課長による公金着服事件の管理・監督責任として、市長を減給10分の1、3カ月、副市長を10分の1、1カ月とする内容の追加議案が本定例会最終日に提案されましたが、本会議における起立採決の結果、賛成7、反対12で否決されました。

- 締結
人権擁護委員の推薦
佐藤 信子（北浦） 他2件
- 議員提出議案
男鹿市議会会議規則の一部改正
意見書3件



米谷 勝 議員

国民健康保険見込み違いについて

質 平成26年度国民健康保険事業特別会計決算見込みは、歳入45億5753万3210円、歳出46億6018万9301円差引き1億265万6091円の赤字決算となる見込みで、国、県調整交付金に大幅な見込み違いがあったその経緯について伺います。

答 歳入の国の普通調整交付金予算現額4億1186万9000円と見込んでいたが、交付額は8329万5000円少なく、県の普通調整交付金予算現額2億3664万6000円と見込んでいたが、交付額は8605万5000円少なく、予算現額との差額は総額で1億6935万円となったものであります。この差額は、補正予算の積算において精査が不十分で生じたもので、今後、予算の積算について十分精査してまいります。

補助金の適正化について

質 補助金が適正かどうか、現状の点検手法について、さらに外部有識者を入れての審査会を開く考えはあるのか伺います。

答 各補助金は、それぞれの交付要綱に基づき、使途や収支の実績報告を求め、内容を点検しております。事業後には、監査委員による決算監査が行われております。また、所管課において内容や実績、効果等について補助事業の評価を行い、内容や必要性について改めて検討されております。なお、監査委員には外部有識者が登用されており、適宜、内容を審査いただいていることから、審査会の開催は考えていません。

財政健全化計画について

質 本市は合併から10年目を迎えました。国からの交付税は年次削減されることとなっている。平成31年には平成25年度決算と比較し市税は5億7千万円減、地方交付税8億6千万円減と見込まれ、約13億9千万円の財源不足が予想されています。将来、市民が安心して暮らせる男鹿市を考え、身の丈に合った台所回しが重要であります。財政健全化に取り組む市長の所見を伺います。

答 今後も市の財政運営は厳しい状況が続くものと推測いたしております。このため、第3次行政改革大綱に基づき、自主財源の確保、経常経費の節減、起債の抑制などに取組んでおり、各財政指標にあつては数値目標を設定し、財政健全化に取り組んでまいります。

【その他の質問】

●地籍調査事業筆界未定地について



三浦 一郎 議員

男鹿市版総合戦略について

質 国は自治体に対して地方創生法に基づいて来年の3月末までに策定するように求めています。どのテーマを核に取組み、男鹿駅周辺整備基本計画・県との未来づくり協働プログラム・平成28年度からの次期男鹿市総合計画とはどう関わり合うのか伺います。

答 安定雇用の創出、地方への人の流れ、若者世代への総合支援、時代に合う地域づくりの4つを主体に地方版人口ビジョンも想定し、今年10月までに策定します。次期の市総合計画は平成37年度までの10年間の計画として本年12月末までに作成します。総合戦略は次期総合計画にも位置づけるもので、駅周辺整備では核となる複合観光施設は県との未来づくり協働プログラムを活かし来年度の事業着手を目指しています。

水田基盤整備問題について

質 区画改良や暗渠工事を求めている男鹿中、野石の平成27年度事業は対象外になったのが問題で、県へ強く要望するとともに市

独自対策も必要だと思います。また、若美野石、比潟谷地の用排水施設は平成20年ごろに改善工事もなされていたようですが、面積50aの内20aが耕作出来ない状態なので抜本的対策を伺います。

答 2つの小規模土地改良7.5ha分は農地バンク登録が前提に変わってしまい実施出来ない状況です。他の事業や、市単独で何が出来るか検討いたします。比潟谷地の市道関連用排水施設は平成19年に排水工事を行っています。排水と道路排水の機能を持ち各種の要因も考えられることから、宮沢町内会の立会いのもと現地調査を行います。

新しい教育行政について

質 コミュニティスクールの内容をお知らせ下さい。また、4月から新しい教育委員会が始まっていますが、従来とどう違うのか、新たな男鹿市総合教育会議の運営手法と教育の自主性、独立性はどのように守られるのかも伺います。

答 学校・保護者・地域・行政の4者が連携し、地域とともに一体となつて子供を育てていく考えです。子供たちの地域への愛着や地域住民の生きがいづくりにもつながり全小・中学校への導入を目指しています。男鹿市総合教育会議は首長が設置、教育委員も対等で議論し、会議は公開、議事録も公表していることから自主性、独立性も保たれているものと思います。



畠山 富勝 議員

商業観光と並行しながら新たなツーリズムの施策

質 観光は地域づくり、地域活性化のため重要な柱の一つであると考えられる。

答 例えば、ワーキングツーリズムです。日々の暮らしの一部として、自家用作物づくりや鶏、乳牛等を養う目的の農山村への出稼ぎツーリズムを促進し、都市部に住む若者たちの暮らしの軸足を農山漁村部へ移させることを狙いとしていく考えはないでしょうか。この度の安倍政権の地方創生は、大きなチャンスであると思いますが市長のご所見を伺います。

質 ましては、今後受け皿となる地域の農林漁業者の方々と実施可能な仕事の洗い出しを行うとともに、都市部に住む若者の農山漁村への受け入れについて可能性を研究してまいります。この度の地方創生についてであります。この度の地方創生についてであります。この度の地方創生についてであります。この度の地方創生についてであります。問題解決に向けて、

国、県の総合戦略を勘案し、10月末までに男鹿市総合戦略を策定し、成果を上げてまいりたいと存じます。

中山間地域を占める本市の創生は

質 林務行政において、森林技術者の育成は緊急の課題である。市はどのように認識し、具体的な施策をどう考えているか伺います。

答 市内の林業事業体に所属する林業技術者は、林業技士が14名、林業作業士が7名、基幹林業作業士10名が資格認定登録されています。市では林業事業体が間伐や作業道開設などを行う技術者の資格取得のため、県が実施する緑の雇用現場技術者育成対策事業の実地研修の場として市有林を提供しており、平成15年から平成23年までに市内の林業事業者、述べ21名が受講しています。今後も市有林を活用した技術力向上に支援してまいります。あわせて、男鹿産材の活用を図ることで需要の拡大に努め、林業・木材産業の活性化を図りながら、林業技術者の育成を支援してまいります。

【その他の質問】

● 歯止めのかからない人口減少に移住者を受け入れるための施策は指定管理者制度についておが地域振興公社のあり方は



佐藤 誠 議員

男鹿駅周辺整備基本計画について

質 第1から第3段階までのこの計画は誰が主体となつて最後まで進めるのか。また、複合観光施設の運営主体はだれか。

答 第1段階の公設民営とする複合観光施設は市が整備主体となり県と一体で進めていきます。営業主体は指定管理者の予定です。

質 集客のためのアピールポイントは何か。9億円かける計画の成果目標の設定はされているのか。

答 「つばき」をコンセプトにした施設整備をする共に、運営主体には世界に通じる本物志向、新鮮、高品質の3要素にこだわり、男鹿の新鮮な海の幸の発信やブランドの形成に取り組んでもらうことを期待します。成果目標は来年1月に示せるよう決めていきます。

質 第1段階の計画には船川の街は含まれていない。しかし人が来なければ第1段階の成功もないことから、集客力が重要な課題である。少なくとも第1段階と第2段

答 階は同時に始めるべきではないか。集客は運営会社の企画力が必須であり、街なかの店も商品開発が求められてきます。男鹿場外市場の展開等、第2段階以降の計画については第1段階の実績を見極めて検討していきます。

質 一部の検討委員会のみで、地元住民や商店など、ほとんど市民の参画も、理解もされない中で、基本設計に移行するのは納得できない。広く市民に呼びかけてその声を聞き、意見集約が可能なタウンミーティングなどの手法を用い、市民参画のきちんとした街づくりをしていくべきではないか。

答 検討委員会で説明、意見交換を行ってきた上で計画策定をしてきました。今後は施設と一緒に展開する事業者と内容を検討し、市民に理解を促したい。

漂着ゴミ、流木処理体制について

質 県よりも、ほぼ市民がボランティアで道路まで運んだものを市で処理しているのが実態と思うが、どのように処理されることになっているのか。

答 県海洋漂着物対策推進地域計画の重点地域の琴浜地区のみ県が処理しており、来年度からの重点地域拡大の要望をしています。可能なかぎり市が対応しています。

【その他の質問】

● 持ち帰り願い表示協のゴミ箱設置の矛盾について

一般質問



土井 文彦 議員

男鹿駅周辺整備基本計画について

質 男鹿市全体にとって重要な拠点の提案ですが、他のまちへの波及効果について伺います。

答 複合観光施設では、継続的な魅力ある施設運営と発信を通じて集客を図りつつ、JR東日本との連携により、市外から男鹿駅周辺への人の流れをつくり、男鹿駅からの2次アクセスを整備することで、市内周遊を促進してまいります。

質 2次アクセス等も含めて連携していくとのことですが、現在の2次アクセスの考え方を伺います。

答 今現在、男鹿駅からの観光ルートとの2次アクセスを交渉しています。JR東日本の協力が必要ということで合わせて交渉してまいります。

質 男鹿駅構想ですが、駅ができるまで10年で、フェーズ1を見極めてからということなので、男鹿市場までの距離空間が空いていると人は行かないと想定されま

すが、人を集める工夫の計画を伺います。

答 運営事業体が人を集める企画、実施が非常に重要であり、六本木ヒルズであつても人を集めるための企画をしています。

そういう企画力のある事業体を選定したいと思っています。

質 人が集中している東京で企画をすれば集まりやすいです。

何よりも地元の人賛同・参画することが大事ですが、人がいない所での人を集める秘策でもあるのか伺います。

答 スマートウエルネスシティということで、月に何回か企画をして人を集める具体的な事例を研究して、人がいない所でも集める工夫をしてまいります。

質 市民周知や民意の反映の意味でも市民会議の開催は検討できないのか伺います。

答 男鹿駅周辺整備基本計画の説明を地元町内会長、興味を示す方々へのご案内をして開催いたします。そこから広がっていくば、市民会議に近いものになると思っています。

【その他の質問】

●旧ジョイフルシティ跡地の活用について

●椿のまち推進について



小松 穂積 議員

日本国憲法改正について

質 憲法改正の議論について市長の想いと是非について伺います。

答 絶対に戦争を起こすような事があつてはならないというのが私の想いであります。

市長の外交について

質 企業誘致の対応について伺います。

答 一本社・自社工場の近接性などが重視され新たな企業誘致は厳しいと考えます。

質 どういう働きかけをしたかについて伺います。

答 市から働きかけたものとして、最近では船越地区のソーラエネ、旧椿小学校と旧男鹿中学校の太陽光発電があります。

町内自治と集落の維持について

質 限界集落の可能性について伺います。

答 4月1日現在、高齢化率が50%を超えた行政区が市内16行政区中、45行政区あります。隣接する行政区との連携により社会共同性は維持されていると認識しております。限界集落とは捉えておりません。

質 社会資本整備について伺います。

答 上下水道は老朽管更新事業、ガスの経年管取替事業、下水道は公共下水道整備など、それぞれの計画に基づき維持していく。市管理道路についても必要に応じ維持してまいります。

教育行政について

質 男鹿市総合教育会議設置の効用について伺います。

答 地方教育行政法に基づいた総合教育会議の設置であることから従来市長と正式に協議する場がなかったが、これからは対等の立場で意見交換ができます。

質 学校統合の見通しについて伺います。

答 船川第一小学校と船川南小学校の統合は、学校代表者、PTAや町内会長などの地域の方々と構成する統合準備委員会を設置し、平成28年4月の統合に向けた準備を進めてまいります。なお、閉校に係る行事等について地域の方々が閉校記念実行委員会を設置したと伺っております。

質 今後の統合計画・専門部会の設置の考え方について伺います。

答 具体的な検討はしていないが、総合教育会議の協議課題とさせていたが議論を深めていきたい。現段階では専門部会の設置は予定しておりません。

男鹿市場について

質 本事業は知事へのプレゼンがあるとして伺います。

答 来年1月を予定しているが、具体的な数値目標を持ちながら、フェーズ1で男鹿と呼び込む、そこから波及していくということ、それを第一にアピールしたいと思いま



安田健次郎 議員

市長の政治姿勢について

質 国会で議論されている安全保障関連法案の議論が進むにつれて日本が戦争すると言われている。憲法違反でもあり自衛隊のリスクも問題になっています。市内には自衛隊員も多く、市民の安全を守る責務もありますし、私達は戦争法案として反対すべきと思いますが、市長の所見を伺います。

答 絶対に戦争を起こしてはならないというのが私の思いであります。

国民健康保険税について

質 市の税金で一番重税感のある国民健康保険税が今度広域で県単位一本化で運営されることが決まりましたが、これは国の医療費削減を図る目的と徴収を強化できるしくみにつながることであり、市長はどう考えているのでしょうか。又引き下げについては今後はどう対応するつもりなのか提案を示して下さい。

答 国民健康保険の安定的な財政運営と制度の安定化が図られる広域化については市として要望しているものであります。引き下げについては医療費抑制を図るジ

エネリック医薬品の普及などに努めてまいります。

野石小学校の跡地利活用について

質 野石小学校の跡地利活用について地域の中で今いろいろな意見がありますが、多くの方は地域のシンボリックであり、地域の為に活用出来る場所として残して欲しいとの声であります。今後の利活用を検討されているのでしょうか。又、校舎の管理なども心がけるべきではないでしょうか。

答 現段階で具体的な利活用の計画はありませんが、今後地域の方々のご意見を頂き検討してまいります。敷地等管理は草刈り等を含め適切な管理に努めます。

農業施策について

質 農地中間管理機構の動向はいかがでしょうか。又、大規模集積だけでなく中山間地を含めたきめ細かな施策と中山間の水田農業の振興も必要と思いますが、市の今後の対応はいかがでしょう。

答 平成26年度は借受け希望は53経営体、貸付け希望は2戸となっています。複合作物の作付拡大、夢プラン応援事業や新規就業経営開始支援事業などの活用を図り、野菜や畜産業などの応援をしてみたいです。又、中山間地域農業活性化基準整備事業や中山間地域等直接支払交付金事業などで応援してまいります。

その他の質問

過疎地対策について



進藤 優子 議員

生活困窮者対策について

質 経済的に困窮する人を生活保護に至る前の段階から支援、自立できるよう積極的に後押しをする、生活困窮者自立支援制度が4月から始まっています。さまざまな事情から生活困窮している方に対し、有効な支援、早めの対策が欠かせません。本市の取組み状況について伺います。

答 必須事業となっている、自立相談支援事業及び住居確保給付金事業を実施しています。福祉事務所に「生活相談窓口」を設置し、広報おが4月号の折込で、全戸にパンフレットを配布、市ホームページでも事業の周知を図っております。相談支援員3名体制で、対応しております。

生活習慣病予防の促進と「コンビニ健診」の推進について

質 本市のがん検診受診率は低く、子宮がん、乳がん検診の受診率は全県で最下位です。「コンビニ健診」を実施している自治体があり、生活に身近なコンビニが生活

習慣病対策を担う存在として注目されています。本市も市民の健康増進を図る取組みの一環としてコンビニ健診の導入を検討してみたいかがか。

答 市内にあるコンビニは一部の地区に偏りがあり、駐車場のスペース、尿検査のためのトイレ確保が必要であることなどから、実施は難しい状況です。健診会場として大型小売店を見た場合、スペース、トイレなど、コンビニより確保できること等、関係機関と調整を図りながら研究してまいります。

「おがっこネウボラ」について

質 産後ケア対策について、出産直後の母親と新生児の心身をサポートできるよう、宿泊型の産後ケアや、日帰りのデイサービスケア、自宅を訪問して家事などを手伝う産後ヘルパーの派遣など、産後ケアの充実について市長の考えを伺います。

答 今年度から新たに、産婦産後1カ月健診、産後教室、「ママ悩み相談会」を開催することとしております。宿泊や日帰りの産後ケアは専用の施設整備が必要であり実施は困難であります。

その他の質問

●イクメン手帳について
●児童生徒を熱中症から守る取り組み
●ミストシャワーの導入について

一般質問



船木 正博 議員

男鹿駅周辺整備に対しての考察

質 より効果的で成功率の高い地域選定を再度検討してもらいたい。

答 男鹿駅周辺の特長として、公共交通機関で市内各地区と結ばれており、市内外から通年の集客が見込まれ、2次アクセスの整備により、男鹿市全体の活性化につながる。これらのことから男鹿駅周辺の整備を計画したものであります。

質 この整備計画の意見収集、検討会、住民説明会は何回開催し、どんな意見が寄せられていますか。

答 地元町内会長や男鹿市商工会などで構成する検討委員会において5回にわたり意見交換を行っており、男鹿企業親交会と意見交換会、事業者や市民の方を対象とする説明会を開催し、32事業者の参加がありました。これらの意見交換の中で、「官民連携して行っていく必要がある」「男鹿のお

いしいものを食べさせる施設が必要」などの意見や、運営及びスケジュールなどに関する質問がありました。

ジョイフル跡地問題

質 その動きを加速させるため再度の質問になります。

先月、ジョイフルシティ跡地の問題を話し合うべく、市民クラブの有志と共に、伊徳本社を訪ね、伊徳会長と開発部長のお二方と面談してきました。その時のお話では、男鹿市と一緒に何らかの施設をタイアップしてやっていきたいとの趣旨のお話をいただきました。男鹿市が民間活力を生かして開発できる貴重なチャンスと捉えることができそうです。市長はこのお話を前向きに考えて進めることはできませんか。

答 ジョイフルシティ跡地の活用につきましては、株式会社伊徳が民間企業として事業展開されることが基本であると考えております。同社とは、出店に向けて協議を続けており、今後とも、出店につながるような支援策を探ってまいります。

【その他の質問】

- 船川再生のみち
- 老人に優しい福祉のまちづくり
- 市長の教育観



佐藤 巳次郎 議員

「男鹿駅周辺整備基本計画」市民の理解、判断が必要 説明会の開催を早急に！

質 6月5日に議会に計画内容が示された。計画の目的は男鹿市全体の持続的発展と活性化を見据え、市の都市中核ゾーンである男鹿駅周辺の整備とにぎわいづくりを推進するとしている。この計画は多額な事業費であり将来にわたる一大事業である。市民がこの計画に対し、どう判断し、理解するかが一番重要であると考えてるが、市長の見解を問う。又計画が公表される前に、計画推進の部会を設け、協議していることは、複合施設の建設を前提に進めていることとして議会や市民を無視した計画の見切り発車であり暴走と言わなければなりません。議会での議論はこれからであり、市民への説明も一部である。地元船川地区や海岸通りで事業を行っている商店、飲食業者への影響は深刻であり死活問題だと訴えている。商店街が崩壊するのではと心配するが、市長はどう考えているか伺います。

答 秋田県未来づくり協働プログラムを活用し、県と市でプロジェクトチームを作って進めていくもので、男鹿の恵みを生かす観光振興プロジェクトとして複合観光施設整備の事業規模は9億円と見込んでいます。

質 市民への説明会については地元町内会や商工会等で構成する検討委員会において昨年から5回にわたり意見交換を行っています。地元商店街への影響については、市内外から男鹿駅周辺に誘客の強化を図ることとしており、商店では魅力的な商品の企画開発や発信等に努めて頂きたい。

質 計画による観光客数の増加や農水産物が年間を通して販売出来る状況にないが取り組みと対応について伺います。

答 観光客数は来年1月までに入込客、宿泊客数、複合施設への来場者数の目標値を定めていきます。農水産物の生産体制については、物販商品開発部会には、市内農業や水産関係者も参加しており、又急速冷凍機の導入により年間を通した生産体制の構築を図ってまいります。

【その他の質問】

- 半島振興法による本市の施策について
- 地域社会の今後と人口減少について
- 家庭ごみの有料化について等



船橋 金弘 議員

若美北部地区の活性化について

質

宮沢海水浴場、夕陽温泉W A O、チューリップ畑、ブランドメロンの農業と目覚ましいものがありましたが、ここ数年は周辺商店は減り、空き家は増え、その賑やかな風情は薄れてしまいむしろ衰退の兆しさえ思わせるような事態になっております。若美の代名詞でもあった宮沢海岸を中心とした観光地を復活させるべく、多くの方々にまた来たいと思われ海の家へのアクセス等の整備やイベントを通して知名度を上げるなど、行政のてこ入れが必要ではないでしょうか。

答

環境や水質などに優れていることから快水浴場百選に選ばれ、本県を代表する海水浴場となっており、その魅力を県内外に発信するほか、毎年7月末には宮沢海岸夕陽フェスティバルを開催しており、平成24・25年にはビーチバレー県大会が併せて開催されております。今後もビーチバレー大会の誘致を働きかけてまいります。アクセスにつきましては国道101号線五明光のT字路や県道42号線男鹿八童線の大潟村内の交差点などの案内標識に道路管理

者である県へ働きかけ、さらなる誘致に努めてまいりたいと存じます。

野石小学校の有効利用について

質

地域の高齢者の方々が集まる場所の確保として、過酷な秋田の冬はひとり暮らしのお年寄りの方にとってはとても心細い時期でもあることから、野石小学校を冬期間のみ安心して過ごせる宿泊施設にしようか。そこに暮らす人々の生活の後押しをすることを一番に考えなければならぬと思いますが、いかがでしょうか。

答

高齢者が冬期間のみ利用できる宿泊施設としての活用につきましては、改修費用を要することから対応は困難であります。

防雪柵の設置見込みについて

質

県道弘戸琴川線旧JA弘戸Aコープから渡部間、福川、堅石角間入り口までの件であります。冬期の安全のために通学路の雪だまりの排除、安心できる交通体系の確保をいま一度検討を要望するものであります。

答

県との合同パトロールにおいて現地調査を実施してきており、引き続き平成27年度調査を働きかけてまいりたいと存じます。

【その他の質問】

●トレーニングセンターの活用

●進め方について

●総合観光案内所の出入口整備について

●国道101号線の整備の進め方について

●国道101号線の整備の進め方について

議案 質疑

議案第47号平成27年度男鹿市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分について

質疑

議会の立場から申し上げると専決処分になじまないのではないかと。本予算は、平成26年度予算において収支不足が生じるため、平成27年度一般会計から1億700万円を繰上充用するというものですが、今回のように大きな歳入不足が生じた場合は、臨時議会、または、全員協議会等を開催して報告、事情を説明するなど、議会の審議に付するべきでないのか。市長の行政判断、政治判断についてどうお考えなのか、また、国・県の交付金の算定誤り、見込違いによって1億数千万円、歳入が不足した。その原因は何によるものなのか特別な事情があったのか、本市の単純な積算ミスなのか、説明を求めます。

答

平成26年度の国民健康保険特別会計の収支であります。歳入の国・県の負担金及び交付金については、3月末で確定しております。

では、5月末ということで、それについては不透明な状態でした。歳出においては2月分の保険給付費の支払いが4月中旬となっております。それと合わせて歳出の確定は4月末となっております。国・県の交付金及び負担金の不足により、収支不足が見込まれ、歳出が確定しなかった関係で、5月に見込を含めた収支の額が確定しております。その不足額にどう対応するかという事で、一般会計からの繰り入れか、または、税率改正によって補てんするか、協議に時間を要しまして、専決処分ということとなりました。

男鹿駅周辺整備基本計画の関連について

質疑

男鹿駅周辺整備基本計画の関連について。現在決まっています変更できないことは何なのか、市民の意見の反映ということで、船川の町内会長全員に声をかけたのか。商工会観光協会の会員全員に呼び掛けたのか。ポイントとなる集客方法の見解を伺います。

答

県との未来づくり協働プログラムということで協議を進めています。県、そしてJR東日本との連携を重要視しており、県と市との間でプロジェクトを立ち上げています。集客方法は複合施設の運営の事業体が決まり、入るプレーヤー(出店業者)も決まっていますから中身を詰めていきたいと考えています。

予算特別委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会に付託された各会計の補正予算について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。
委員会では質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

男鹿駅周辺整備基本計画について

質疑 男鹿駅周辺整備基本計画について伺います。

答 男鹿の活性化を男鹿駅周辺からということ、県やJR東日本との話し合いの中で、市内外の方々を幅広く集客する複合観光施設を中心として計画しております。この複合観光施設の運営主体は、公設民営による指定管理者を想定しております。

本市は、観光箇所が点在しているこの複合観光施設を核として観光の周遊をして頂き、市内に多くの観光客を呼び込みたいと考えます。

さらに、集客できるイベントを研究し、テナントについては地元の方やホームページなどで参加者を求めます。

地元町内会を含む男鹿市商



JR男鹿駅

工会検討委員会などの意見を幅広く取り入れ、事業運営者を中心に計画を固めつつ、それを市民の方々にお知らせし、ご意見を伺ってまいります。

複合観光施設基本設計業務について

質疑 複合観光施設基本設計業務の業務内容及び取組方針等について伺います。

答 平成27年度5月29日基本設計業務は完了しております。予算の積算については、

県の積算基準を参考として設計に要する人件費、諸経費、技術経費を積み上げて計算しております。業務内容は、複合観光施設の建物全体のコンセプトを決めてイメージを検討し、建物全体の基本構成、デザイン、仕様等を決めて建物の設計をします。補助金の活用については、県の交付金が2億円、その他の財源として国等の補助金については基本設計業務の成果に基づいて県と市のプロジェクトチームの指導を受けながら補助金等を活用していきます。プレイヤード（出店業者）の方で組織した専門部会の中で、計画を作り、その計画に基づいて建物の基本構成、デザイン、仕様等を決め、概算工事費を算定し、実施設計となります。施設の基本計画図は7月発注、年度内完成としております。それに基つき来年度補助金の申請となります。

国民健康保険特別会計の繰上充用について

質疑 国民健康保険特別会計

の繰上充用に係る専決処分の経緯及び一般財源充当の考え方について伺います。

答 国民健康保険特別会計

における歳入に関しては国民健康保険税は5月末日の出納閉鎖まで収入が見込まれます。不足する金額を適正に把握するため4月末日までの実績額と5月に収納される見込み額をもとに算出したことから5月に入ってから事務手続きになりました。不足分を平成27年度の一般会計からの繰り入れや平成27年度からの税収に求めるといった対応策の協議も必要になり、平成27年度課税所得確定後に積算する必要があるありました。実質的な協議については5月連休後になり、一般会計からの繰り入れでの対応が、平成27年度の税率改正によってすべて税収に求めるか、平成27年度の国の財政支援分あるいは今後の医療費の動向をみて平成28年度予算で対応するかといった協議に時間を要しました。その結果、平成27年度予算からの繰上充用となり、今回の専決処分となりました。今後については医療費を削減した上で税率改正も視野に入れて運営

する方針です。

社会保障・税番号制度対応システムについて

質疑 社会保障・税番号制度対応システム改修業務の業務内容と作業の見通し及び情報流出に対する危機管理等について伺います。

答 社会保障・税番号制度とは、マイナンバー制度のことであり、日本国内の全住民に一人一人異なる12ケタの番号が割り当てられます。マイナンバー制度のメリットとしては、公平公正な社会の実現、不正受給の防止、国民の利便性の向上、行政事務の簡素化になります。今後のスケジュールは、10月以降、住所地に簡易書留で通知書を送付し、申請手続きをとって、平成28年1月からはマイナンバーカードの交付が始まります。これは公的な資格証として機能を有しております。作業状況は予算議決後、速やかに契約いたしましたし、制度の構築は年度内で行う予定です。情報管理について、法対策において罰則があり、セキュリティ対策としては、システムの一元管理はせず、分散して管理し

て中間のサーバーを通して個別に情報にアクセスします。第三者による特別個人情報保護委員会を設けており、不祥事のおこらないように徹底していきます。周知についても広報紙、ホームページ等で掲載させて頂きます。

学校施設の維持補修及び解体の考え方について

質疑 学校施設の維持補修及び解体の考え方について伺います。

答 3月29日に旧北磯小学校校舎火災により建物の一部が焼失しました。破損状況が著しく、今後の維持管理が困難で建物倒壊の危険もあることから地域の安全確保のために解体することになりました。今後は旧五里合中学校、旧払戸小学校の2校が解体を必要とします。老朽化した教育財産の解体については財政課と協議し優先順位をつけ実施しているところであります。

校舎の活用については旧払戸小学校管理棟、旧野石小学校は児童クラブ等として活用しております。地域の方々のご意見を頂きながら有効活用していきたいと考えております。

す。

インバウンドについて

質疑 インバウンド推進のためのトップセールスのあり方について伺います。

答 県知事と一緒に、今までファームツアーでいらした方々や県観光連盟との関係もふまえて、随行の人選をしていきたいと考えております。

おが地域振興公社について

質疑 おが地域振興公社の経営のあり方について伺います。

答 市監査委員とともに経



おが地域振興公社で運営するなまはげ館

営状況の分析や現場を視察してどう経営を健全化していくか検討しているところであります。営業的な部分と地域住民の方々への福祉的な部分とバランスをとりながらよい方向へもっていききたいと考えております。

職員の税金不適正処理について

質疑 職員の税金不適正処理について伺います。

答 男鹿市税務課職員公金着服事件調査委員会を立ち上げ、副市長が委員長として全容解明、再発防止に全力を注いで参ります。

組織としての管理、点検、確認が行われていたか。公務員倫理や公金の取扱いに希薄さはなかったか。職場全体の立て直し、再生を目指して、職員一丸となつて市民の方々の信頼回復に努めていきます。そのための仕組みづくり、倫理規程を検討していきます。

また日常業務の中で①問題を洗い出す②ダブルチェックの徹底③日常の行動規範のさらなる徹底を職員一人一人が意識してまいります。

男鹿市税務課職員公金着服事件の検査特別委員会を設置

市は6月22日、市民から集めた税金を不適正に処理し、一部を着服したとして税務課長を懲戒免職処分としました。国民健康保険税、固定資産税等、市民が納付した税金が未納扱いとなっており、全容解明のため同日付で男鹿市公金着服事件調査委員会を設置しています。

本定例会最終日に、議会としても男鹿市税務課職員公金着服事件について審査し、事件の原因及び再発防止を採るため、地方自治法第98条の検査権等を付与した男鹿市税務課職員公金着服事件の検査特別委員会を設置しました。

選任された委員は次のとおりです。

安田 健次郎	小松 穂積
三浦 一郎	船木 金光
進藤 優子	古仲 清尚
◎木元 利明	

(◎委員長 ○副委員長)

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、
付託議案等と所管の予算案を
審査し付託議案については、
原案のとおり可決すべきもの
と決しました。
質疑のあった主な事項は、
次のとおりです。

総務

質疑 今定例会の一般質問や
予算特別委員会において、複
合観光施設整備事業に関する
批判的な意見等が多くあった
が、一番の問題は市民や関係
団体との話し合いが不足し、
理解が得られていないことだ
と思う。議会に対して6月
初めに男鹿駅周辺整備基本計
画が示され、今定例会で施設
の基本設計を進めていくと言
うのは、県との協働事業とは
言え拙速すぎるのではないか
か。

答 来月1月の県の本部会
議でのプレゼンに向け、6月
1日に立ち上げたプロジェクト
チームにおいて協議検討を
重ねていきますが、まだ期間
もあることから、これから
議会や市民の方々へ報告や協
議を重ね、より良いものとし
ていきたいと考えています。

質疑 税務課職員による公金
着服事件については、調査委
員会を設置し調査を進めると
のことだが、職員が通常業務
へ専念する意味からも、早い
段階での警察当局への告訴が
必要と思うがどうか。

答 男鹿警察署と告訴を前
提に相談を重ねています。

質疑 不祥事による市に対す
る市民感情を大変心配してい
る。職場内での雰囲気にも問
題があったと思われるが、再
発防止などの今後の対応につ
いて現時点でどのように考え
ているか伺います。

答 調査委員会では事件の
全容解明と再発防止に向けて、
今後、前税務課長が所属して
いた当時の職員について、速
やかに事情聴取を行うことと
しています。また、退職者に
ついても協力依頼をし、これ
までの税務課内の雰囲気など
どこに問題があったのかとい
った実態調査をし、それらに
基づいて再発防止策を立てて
まいります。

教育厚生

質疑 国民健康保険特別会計

において平成27年度予算から
平成26年度予算へ繰上充用し、
その分を一般会計から繰り入
れするという大きな政策転換
を、市長が専断処分により行
った理由について伺います。

答 国民健康保険税の見込
みにより5月末まで1億70
0万円が不足すると4月末に
確定し、対応について協議を
行いました。不足する分を平
成27年度の税率改正により求
める方法、一般会計からの法
定外の繰り入れで処理する方
法等を検討しました。

その結果、厳しい景気状況
の中、被保険者に対して財政
状況を説明しないまま、国民
健康保険税に求めるのは急激
な負担増につながるため、今
回は一般会計からの繰り入れ
で対応することとしました。
繰上充用については、これま
で専断処分対応していたた
め、今回も同様の予算措置を
行ったものです。

質疑 ごみの有料化について、
本年度中に実施するとのこと
ですが、今後の予定はどうな
っているか伺います。

答 9月定例会までには一
般廃棄物処理基本計画を策定
します。家庭ごみの有料化実

施計画についても議会に示し、
その後住民説明会を行う予定
です。12月又は3月の定例会
に、関連する条例案等を提案
する考えです。

質疑 災害時における福祉避
難所の開設については、法人
格を持った事業者の施設でな
ければ協定が結ばないのか、
地域性は考慮しないのか伺
います。

答 今回は設備や夜間体制
の整った社会福祉施設を運営
する社会福祉法人及び医療法
人と協定を締結しましたが、
今後は、他の法人や企業が運
営する社会福祉施設との協定
も視野に入れ、市内全域を対
象に進めていく予定です。

産業建設

質疑 経営体育成支援事業費
補助金について、窓口を広げ
多くの助成希望者に対応す
べきでないか伺います。

答 国が実施している事業
で、市を通じて助成している
です。経営面積拡大やコスト縮
減など、約10項目の成果項目
でポイントを積み上げ、ポイ
ントの高い順に国で採択して
います。昨年度から希望者す
べてを国へ申請することとし
ていますが、全国の手挙げ方
式で、かつポイント数で競う

ため、なかなか採択されない
のが実態であります。
意見 市として、意欲を持っ
て農業に取り組んでいる人が、
制度を活用できるよう努力し
てほしい。

質疑 五社堂駐車場整備測量
設計業務について、大型バス
の出入りをスムーズにするた
め、測量設計業務終了後は速
やかに改良工事を実施すべき
と思うがいかがか。

答 来月、五社堂800年
祭を迎えます。今年度内には
完成させ、五社堂800年祭
に訪れる観光客を改良した駐
車場でお迎えしたいと考えて
います。

質疑 住宅リフォーム助成事
業について、来年度以降、県
で実施している住宅リフォー
ム推進事業が廃止された場合、
本市の住宅リフォーム助成事
業のあり方について伺います。

答 3月定例会での議論を
踏まえ、一般世帯分廃止とい
う方針を一律5万円支給とし
ました。市内経済の活性化を
目的に、県事業との相乗効果
を狙い事業を実施しています。
これまで数億円の一般財源が
投入されていることから事業
継続は厳しいと考えていま
す。

議案質疑・討論・賛否一覧表

男鹿市議会だより

No.45 27.8.1

追加議案

議案 質疑

議案第60号男鹿市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 本改正案はこの事件に係る管理監督責任として、市長は給与の10分の1を3カ月、副市長は、給与の10分の1を1カ月減額する内容ですが、これまでの減給案とは異なるのではないかと、今までは、課税ミス、収納ミスでの減給問題でした。今回の事件は一番の要である税務課長の公金着服という、あってはならない事案であり、7月1日から新たに就く税務課長の徴収・収納業務に支障が出るのではないのか。長年の人事管理、2人体制を1人で収納し、税務課内でチェックできなかった。この度の減給案は市民感覚として、責任の取り方としてふさわしいのか、また議会が説明を受けた後、着服金額が増えているし、今後、収納減が2千万円(現時点)を超える点を考えると、大きな額に見合う責任の取り方なのか疑問に思う。

答 公金着服事件に関しても責任は、私に任命責任もありますし、途中のチェックも必要であった。規則を決めても、それを実行しなければ、その規則は機能しません。今後、調査委員会で全容解明した上で、再発防止策を打ち出し、信頼回復に向けています。責任の取り方はいろいろな意見があると思いますが、今回の提案に至りました。

質疑 過去の処分の内容・他市のどのような事案で、処分内容がどの程度であったのか。提案された減給案では市民感情からすると少ないのではないかと。着服事件が拡大した場合、処分を再考する考えはないのか。

答 他市の公金横領で現金・税務関係の証明料など43万4千円を横領した事案で、市長が10分の1、1カ月、副市長が10分の1、1カ月、減額している、事例が似通っていることから提案しました。

◆議案第55号 平成27年度男鹿市一般会計補正予算(第1号)について

反対討論 安田健次郎議員

本議案の補正予算の中にある社会保障、税番号制度対応システムの改修業務費の内容は、国が納税や社会保障給付などの情報を一元管理し、行政手続きなどで活用する仕組みであります。来年1月から運用する計画となっておりますが、ひとたび情報が流出すると図りしれない被害を招くという致命的な欠陥制度であります。

また2年前成立当初は税と社会保障、災害に限っていましたが、今は個人の預貯金や健康情報まで拡大し、さらに医療情報、戸籍や旅券などへも拡大されるという問題があります。

しかも、人的経費などに会社の負担があり、特に中小企業からは悲鳴があがっているそうです。

市民はほとんど利用することがなく個人情報もれる心配が多く、リスクだけの多い制度であり、決して許されるべき制度ではないと考えます。決して本予算の他の部分を否定する考えではありませんが、本補正予算については反対討論とさせて頂き、議員各位のご賛同を心からお願いいたします。

議案第47号 平成27年度男鹿市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分について
 議案第55号 平成27年度男鹿市一般会計補正予算(第1号)について
 議案第60号 男鹿市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
 議会案第28号 安保関連法案の廃案を求める意見書

賛否一覧表(平成27年6月定例会)

(○:賛成 ×:反対 議:議長)

賛 否 一 覧 表 (平成27年 6 月定例会)														(○：賛成 ×：反対 議：議長)							
会派・議員名 議 案 番 号	市 民 ク ラ ブ							新 生 21						政 和 会				日 本 共 産 党		公 明 党	議 決 結 果
	吉田 清孝	高野 寛志	米谷 勝	木元 利明	船木 正博	畠山 富勝	三浦 一郎	土井 文彦	古仲 清尚	佐藤 誠	小松 穂積	笹川 圭光	三浦 桂寿	中田 謙三	船木 金光	船橋 金弘	三浦 利通	佐藤 巳次郎	安田 健次郎	進藤 優子	
議 案 第 47 号	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	承 認
議 案 第 55 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	○	可 決
議 案 第 60 号	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	×	×	×	否 決
議 会 案 第 28 号	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議	○	○	×	可 決

※三浦利通議長は採決に加わりません。

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

陳情

● 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める陳情

《主な内容》子どもたちの教育環境改善のために、少人数学級と計画的な教職員定数改善を推進すること及び教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを求める。

● 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情

意見書

● 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

● 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書

● 安閑連法案の廃案を求める意見書

3件とも可決されましたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

議会日程を支所・出張所窓口で

男鹿市議会では、定例会招集告示された翌日から「会期及び日程表」、「一般質問通告書」を支所・出張所窓口に備え付けますので、議会傍聴にお出の際の参考にしてください。

なお、ホームページでも公表していますのでご活用ください。

議会を傍聴

しませんか！

9月定例会は
下記の予定です



6月定例会の傍聴者は42人でした。

平成27年9月定例会日程（予定）

月	日	曜日	会議名	主な内容
9	1	火	本会議	決算特別委員長報告（公営企業会計） 質疑、討論、表決 市長提出議案上程（提案理由の説明）
	3	木		一般質問
	4	金		一般質問
	7	月		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託 決算特別委員会設置・付託
	8	火	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
	9	水	決算特別委員会（一般・各特別会計）	付託議案の審査・質疑・討論・表決
	10	木	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査 （総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会）
	11	金		各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
	14	月		最終日の運営について
	17	木	本会議	各委員長報告 （総務・教育厚生・産業建設・予算特別・決算特別） 質疑、討論、表決

議会の豆辞典 ⑱

● 特別委員会

常任委員会及び議会運営委員会のほかに特定事件を審査するために設置された委員会のことをいいます。

特別委員会に付託する事件については、特に基準が定められていませんが、2個以上の常任委員会の所管にまたがるもの、事件が重要であつて1個の常任委員会の負担を超

えるもの、議員の懲罰資格等の特殊な事件などがあります。男鹿市税務課職員による公金着服事件について、7人の委員を持つて構成する特別委員会を設置し、地方自治法第98条に定める地方公共団体の事務についての検閲・検査及び監査の請求ができる権限を委任し、検査を行うこととなります。

編集後記

▼ 本定例会では、当局より23議案件が提案され、最終日は午後9時過ぎまでの審議となりました。

▼ 主な論点として男鹿駅周辺整備事業（一期工事9億円）の複合観光施設基本設計約9百万円の委託業務費について、さまざまな観点から議論がされた上、計画を進めることとなりました。

▼ また、税務課長による公金着服問題が6月20日にマスコミから報道され、現在調査中とは言え、3千万円以上という金額に唖然としております。市長は任命者として減給10%、3カ月の提案をしましたが、起立採決の結果、軽すぎるとして否決されました。

▼ さらに、議会案として、国会で審議されている安全保障関連法案の廃案を求める意見書を起立採決の結果可決し、国へ提出しました。（詳細についてはP13参照）昨年の7月から、全国の地方議会より国会へ469件の意見書が提出され、うち463件が撤回や廃案及び慎重な審議を求める内容と聞いております。

▼ 以上、3点について後記しましたが、市民の皆さんはどのように思っているのか知りたいものです。

（畠山富勝）